

令和3年度練馬区立南が丘小学校経営計画

令和 3年 4月 1日

校長 後 藤 京 子

I 学校教育目標

けやきの子

かしこく

やさしく

たくましく

社会に貢献しようとする高い志をもち、知恵と実践力を備え、他者と協働しながら、価値を創造していける自立した人間を育てるために、小学校の発達段階に応じた教育の役割を果たしていく。

II 目指す学校像

南が丘小学校の児童一人一人が、友達や教師に認められ、大切にされ、存在感や所属感、充実感を味わい、楽しく生活することを通して、安心感や信頼感が醸成される学校としたい。そのため全教職員が、以下の学校像実現のために全力を傾注する。

- 児童と教職員が活力に満ち、満足できる学校
- 保護者に信頼される学校
- 地域社会から愛される学校

III 中期経営目標（令和3年度から令和5年度）

1 人権尊重の精神および豊かな人間性を育てる教育の推進

人権尊重の理念を正しく理解させ、豊かな心をもち、生命を尊重し、伝統と文化の理解を深め、心身ともに健康で人間としてよりよく生きるための基礎・基本となる道徳性を身につけさせる教育を推進する。

(1) 心の教育の充実を図る。

- ・道徳の全体計画や年間指導計画を活用し、道徳的価値の自覚および自己の生き方についての考え方を深めさせる。
- ・道徳的実践力を育成するため、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて道徳教育を行い、その充実を図る。

(2) 「思いやり」を育む学年、学級をつくる。

- ・「認め、励まし、褒める」指導の徹底を徹底し行い、児童の自尊感情や自己肯定感を高める。
- ・児童一人一人に居場所と活躍の場を与え、児童が互いに認め合い、自己有用感を育む学級を構築する。

(3) 教室等の環境整備を図る。

- ・美しい心は、美しい環境の下で育つ。児童と教師がともに清掃に励み、整理整頓に努める。
- ・人権的な言語環境を整備し、共感的で見通しのもてる指導を徹底する。掲示物の文章表記（誤

字、脱字)に注意し、掲示の仕方も工夫する。

- ・個人情報の管理には細心の注意を払う。

(4) 歌声あふれる学校づくりプランを構築する。

- ・朝の学習の時間に、各教室で音楽朝会・音楽集会で計画されている歌、また、各学級で選定した歌を歌い、音楽表現に対する思いを共有し、学級ごとのまとまりをつくる。
- ・全学級を音楽専科が巡回指導させ、学校生活と音楽が主体的に関わっていくことができるように音楽専科の資質・能力の向上に努める。

2 確かな学力および主体的に学習に取り組む態度を身に付けさせる教育の推進

確かな学力を身に付けさせるために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を身に付けさせる教育を推進する。

(1) 学習習慣を確立する。

- ・前の時間の最後には次の学習の用意を準備する、チャイム着席、目と耳と心で聴く姿勢を身に付けさせる。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」を促す指導を推進する。

- ・言語能力の育成を中心として、聞き手へ問いかけながら文脈ごとに区切って説明する「相手意識に重点を置いた発言と表現」を定着させ、教科横断的な視点でカリキュラムマネジメントを行う。
- ・振り返りの場を設定し、「できた・わかった」と発言する児童、ノートに振り返る児童を育成する。
- ・ノート指導を中心として、書くことによる表現力を高める。
- ・指導方法や指導体制の工夫改善を図り、問題解決的な学習、体験的な学習を十分に取り入れ、児童が主体的に学習する場を設定する。

(3) 「わかる、できる授業」を目指し、基礎的基本的な内容の確実な定着を図る。

- ・朝学習・習熟度別指導を通して、個に応じた多様な指導を行い、児童の学習意欲を高めるため、指導過程や成果を評価し、指導の改善を図る。
- ・ねらいの明確な提示、わかりやすい発問、授業内容の流れを確認できる板書、振り返りのできるノート指導を行う。

(4) ICTを活用したわかりやすい学習を推進する。

- ・GIGAスクール構想の実現を目指し、教師による対面指導と遠隔、オンライン教育を使いこなせる学習の在りを構築していく。
- ・知的好奇心を喚起し、基礎的な知識や技能を活用して、主体的・対話的に学習に取り組む態度を育成する。

(5) ユニバーサルデザインを意識した学習の展開を図る。

- ・学習の流れの掲示、板書の工夫、掲示物の掲示の工夫、明確なルールの掲示など、UBを意識した学習を展開する。

(6) 家庭学習の充実を図る。

- ・毎日、学年×10分の課題を出すことで、家庭学習の習慣化を図る。

3 健康の保持増進および体力の向上を図る教育を推進する。

健康・安全で活力ある生活を営むために必要な資質・能力を育て、心身の調和的な発達を図るため、体育科の時間はもとより、各教科等の特質に応じて適切に指導を行い、日常生活において体育・健康に関する実践を促し、生涯を通じて、健康で安全な活力ある生活をお送るための基礎を培う教育を推進する。

(1) 児童の体力向上を図るための取り組みを推進する。

- ・新体力テストを活用し、課題ごとの基礎体力の増進に向けて、通常の体育科の学習で反復学習していく。
- ・本校の特色である縄跳び運動を継続し、発表会での達成感を味わわせるとともに、体力向上の取り組みを充実させる。
- ・休み時間は、外で元気よく遊ばせる。
- ・オリンピック・パラリンピック教育の意義を明確にし、推進計画に従って、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間および特別活動を含む全ての教育活動を通して、オリンピック・パラリンピック教育を推進する。

(2) 安全かつ安心感のある楽しい学校生活を創る。

- ・安全指導・避難訓練・セーフティ教室等を計画的に行い、「自分の身は自分で守る」児童を育てる。
- ・来校者に対して、教職員すべてが挨拶、声かけに努め、安産対策の徹底を図る。職に対する指導、体育・健康に対する指導安全に関する指導を各教科等、道徳、特別活動、総合的な学習の時間なども含めた学校の教育活動全体を通じてその一層の充実を図る。
- ・基本的な生活習慣として、あいさつ・返事・後始末・正しく場に応じた言葉づかい・感謝の心を身に付けさせる。

(3) 未然防止と早期対応による、組織的な児童・保護者対応を確立する。

- ・「いじめはしない、させない、見逃さない、許さない」という毅然とした態度で指導に臨む。
- ・毎週実施する生活指導夕会で、「気になる児童」について報告し、情報の共有に努める。
- ・アンケートを実施して、いじめ等の実態を把握し、早期発見・早期解決につなげる。
- ・担任から学年主任や生活指導主任へ、そして、管理職へと連絡・報告を徹底し、組織的に敏速に対応できる体制を確立する。
- ・3日連続の欠席児童の状況の共有と対応を迅速に実施する。

(4) 体罰や言葉の暴力に頼らない「認め・励まし・褒める」指導を推進することを、機を捉えて喚起する。

- ・年3回以上の服務研修を実施し、重点項目として体罰を取上げる。

4 特別支援教育の推進

(1) 教員一人一人の専門性を生かし学級担任と連携し、ふたば教室の児童一人一人のニーズに応じた指導を行う。

- ・個別の指導計画、連携型個別指導計画を作成し、児童一人一人適正な指導を行う。

(2) 特別支援コーディネーター、スクールカウンセラー、巡回心理士、心のふれあい相談員と

連携を図り、校内委員会を月に1回設定する。

- ・児童一人一人のアセスメントを有効活用し、担任の指導に生かす。
- ・特別支援教育研修会を開催し、教員の専門性を高める。

(3) ユニバーサルデザインを意識した教室環境・授業を確立する。

- ・教室前面の掲示物は必要最低限に留める。
- ・本日の学習の流れを掲示し、児童が学習の見通しをもてるようにする。

5 小中一貫・連携教育とキャリア教育の推進

本校と南が丘中学校の教育の連続性を重視し、義務教育9年間を見通して学力の向上を図ると学校生活をより豊かな物とし、児童・生徒の人間関係や経験を広げるなど、広い視野に立った教育を推進する。

- ・南が丘中学校とカリキュラムの接続、教員の連携、児童・生徒の交流を柱とした学習・生活指導の方法について共同で研究を行い、学習・生活指導の滑らかな接続を図る。
- ・自身の良さや可能性に気付かせ、将来の夢や希望を抱かせるキャリア教育を推進し、勤労観の育成を図る。

6 開かれた学校づくりの推進

保護者、地域が魅力・活力、信頼を実感する学校にするために、全教職員の力を結集して教育活動に当たる。

(1) 児童の成長や成果を積極的に伝えていく。

- ・学校だより、学年だより、ホームページで、学校の方針・児童の様子や成長を積極的に発信していく。
- ・各種アンケートの結果を、教育活動につなげていく。
- ・児童の成長が実感できる学校行事を実現する。

(2) 愛校心・郷土愛を育む教育の推進を図る。

- ・地域行事に積極的な児童の参加を呼びかける。教職員も、計画的な参加を促す。
- ・「地域は教室」「地域は先生」「地域は教科書」地域の人材や教材を最大限に活用し、地域に支えられた学校教育を構築する。

IV 令和3年度の達成目標と具体的方策

1 教育活動の充実について

(1) 確かな学力および主体的に学習に取り組む態度の育成について

①学習習慣を確立する。

・前の時間の最後には次の学習の用意を準備する、チャイム着席、目と耳と心で聴く姿勢を身に付けさせる。

②相手意識に重点を置いた発言方法、表現方法の定着

・言語能力の育成を中心として、聞き手へ問いかけながら文脈ごとに区切って説明する「相手意識に重点を置いた発言と表現」を定着させ、算数で身に付けた言語能力を教科横断的な視点でカリキュラムマネジメントを行う。

③個に応じた指導の充実

・朝学習・習熟度別指導を通して、個に応じた多様な指導を行い、児童の学習意欲を高めるため、指導過程や成果を評価し、指導の改善を図る。

④問題解決的な学習の確立

・既習の知識・技能を生かした課題発見・解決に向けた学習方法を確立する。

⑤年間指導計画に基づいた授業の実施

・標準時数を確保し、本年度の学習内容を確実に履修させる。

・1単位時間の授業のねらいを明確にした週ごとの指導計画を作成・振り返りを実施する。

・ノート指導を通して表現力を向上する。

⑥ICTを活用したわかりやすい学習を推進する。

・タブレットを活用し、教師による対面指導と遠隔、オンライン教育を使いこなせる学習の在りを構築していく。

⑦研究・研修の充実を図る。

・校内研究では、主題「思考力・表現力を高める指導の工夫」に沿って、講師を招致した研究授業を年間3回行い、タブレットを工夫した指導力の向上に努める。

⑧家庭学習の充実を図る。

・毎日、学年×10分の課題を出すことで、家庭学習の習慣化を図る。

(2) 人権尊重の精神および豊かな心の育成について

①道徳科の授業の改善を図る。

・道徳科全体計画と年間指導計画に基づいた指導を実施する。

・週ごとの指導計画には、ねらい、内容項目、資料名を記入しねらいの意識化を図った学習を推進する。

②生活指導の充実を図る。

・あいさつ・返事・後始末・場に応じた言葉遣いの指導の徹底を図る。

・生活指導上の情報を共有し、全教職員の共通理解の元、組織的に指導を行う。

・いじめの未然防止、早期解決に全力で取り組む。

③特別支援教育の充実を図る。巡回指導教員の専門性を生かした指導と学級担任の連携による児童一人一人に合った指導、支援体制を確立する。

④人とかかわる体験の充実を図る。
・「けやき班活動」「ペア活動」を通じた異学年交流を通して思いやりの心を育む。

⑤子供があこがれる教師を目指す。
・教育公務員として、サービスの厳正を図る。
・保護者・子供・地域のモデルたる言動、服装、マナーを身に付ける。
・授業づくりのプロとしての自覚をもつ。

(3) 体力の向上と県央の保持増進、安全・安心な学校生活の充実を図る。

①体育科の授業改善を図る。
・週ごとの指導計画には、ねらい、安全への配慮事項を記入し、運動に苦手意識のある児童に興味・関心がもてるように指導する。
・タブレットを活用し、運動のめあての達成した学習に取り組む。
・オリンピック・パラリンピックの4テーマ×4アクションに関わる年間35時間の各教科・領域への計画を確実に実施する。アスリートを活用した体験の実施による縄跳びの運動技術を向上させる。
・新体力テストの結果を分析し、課題改善を図る。

②避難訓練、交通安全教室、セーフティ教室、情報モラル教室を実施する。
・「自分の身は自分で守る」児童を育成する。
・安全指導日と安全点検を確実に実施児童の安全・安心な学校生活を守る。
・事故の未然防止に努め、理科・図工・家庭科・体育は、週ごとの指導計画に安全への配慮点を確実に記入し、安全に努めた指導の徹底を図る。

③健康教育・食育の充実
・「練馬区立学校 改定版感染予防のガイドライン」「新型コロナウイルス感染対策の徹底」を踏まえ、日常的な感染予防対策を実施し、児童、教職員の健康を守る。
・養護教諭や栄養士の専門性を生かして、健康や食に関する指導に取り組む。

(4) 開かれた学校をつくる。

①学校より積極的に情報を発信する。
・学校だより、学年だより、学級だより、ホームページにより、児童の成長した様子と教職員の取り組みを発信する。
・学校評価の充実・改善を図る。

②地域の方々、自然、施設等を活用し、愛校心、郷土愛を育む。
・おやじの会、「お花咲かせ隊」、保護者の読み聞かせや、地域コーディネーターと連携した人材事業を実施する。

③小中一貫教育を推進する。
・児童生徒交流として、あいさつ運動、リトルティチャー、シューズバンクを実施する。

④幼・保・小の連携
・近隣の幼稚園、保育園と連携する。

(5) 安全な施設・効果的な予算の計画、実施を図る。

①教育環境を整える。

- ・教員と児童の清掃活動により、手入れの行き届いた教育環境を整える。
- ・用務主事による計画的な消毒作業、トイレ・床・校庭周りの清掃、照明器具の取り替え、等、教育環境を整備する。
- ・安全点検等で課題のあった箇所については、その日のうちに改善を図る。もしくは児童が危険な状態に陥らないよう対策を講じる。

②効果的な学校予算の執行に努める。

- ・最小の予算で最大の効果を上げるために、重点的な配分と計画的な執行を行う。
- ・節約の精神を教職員全体でもつ。